

居ッテ何一ツ不足顔モシナイ、一方ハ又ソレヲヨイコトニシテ何時モロハ聽キノげいとウヲ演ジテ居ルガ實ハ此手ハ餘リ公明正大ナ遣リ方トハ言ハレナイネ、勿驚コレガ東京ニ在ル天然紀念物保存會ノ堂々タル植物博士達ノ「インサイド、フアクト」デアル

▼ツマリ其植物保存ノ考究、決定等ニ關シテ無クテナラナイ重要ナ人物ハ其選ニ漏レ不適當トマデハ行カナクトモ確ニ其方面ノ事ニハ誰レモ餘リ重キヲ措カナイ割合ニ不案内ナ人ガソレニ携ハツテ居リ謂ハユル適材ヲ適處ニ置イテナイ珍現象ガ生ジテ居ルノガ目下ノ實況デアル

▼コンナ不徹底極マル遣リ方デハ遺憾ナク能ク其事業ガ舉ルカドーダカ苟モぼんくらニアラザル限リハ其結果ヲ推知スルニ難クハナイ、會ヲ統轄スル者ノ眼光ハ紙背ニ透ラネバナラナイト思フ

▼我日本帝國ノ爲メニ有益ナル斯事業ノ發展ヲ祈リツ、改メテ忌憚ナク率直ニ言ツテ置クガ植物保存事業ニ對シテ分類學者ガ愛想ヲ盡カシテ取り合ハナケレバ決シテソレガ好結果ヲ齎ラス所以ノモノデナイト、故ニ世間ヲ愚ニシテ其方面ニ堪能ナ人々ヲ排斥シ其方面ノ事ニ對シテハ我等仲間ノ誰レガ見テモ少クモ半可通位ニシカ受取レナイ少數人士デヤラウト云フノハ全ク盲ヲ蛇ノ沙汰デアル、局ニ當ル人ハ須ラク三ダビ思ヲ此コニ致スベキデハアルマイカ (69頁ヘツック)

## ○蕾軒獨語 (其二)

蕾軒 朝比奈泰彦

エングラード氏植物分科大全 (Pflanzenfamilien) 中ツマルブルックナー氏ノ執筆ニ係ル地衣各論ノ最初ノ行ニ地衣ヲ分テ三區トナシ第一蘘菌地衣區 (Ascolichenes) 第二基菌地衣區 (Hymenolichenes) 第三腹菌地衣區 (Gastro-

Lichenes) トアリテ終末ニハ腹菌地衣區ハ僅ニ數行ノ斷リ書デ幽靈ノ如ク消失シテ居ル、此ノ腹菌地衣ナルモノ、  
 生體ハ抑モ何デアツタカ、  
 此事ノ起リハ千八百八十七年(明治二十年)英國キー植物園ノマッセー(George Massée)氏ハ Philosophical  
 Transaction of the Royal Society London (B) Vol. 178, p. 305. ニ地衣群ノ一新型腹菌地衣ニ就キテ (On  
 Gastrolichenes, a new Type of the Group Lichenes.) ト題スル一文ヲ發表シテ天下ヲ驚カシタノデアアル、即チ  
 マッセーハ Emericella varicolor Berk. ex Br., Trichocoma paradoxa JUNGHEHN. 及 Trichocoma laevispora  
 Mass. ナル三種ノ菌ヲ捕ヘ來リテ是等ハ何レモ腹菌類(Gastromycetes)ニ屬スルノミナラズ藻トノ共生物ナルヲ  
 以テ地衣ニ屬スベク依テ之ヲ從來知ラレタル囊菌及基菌ノ兩地衣區ノ外ニ獨立セシメ腹菌地衣區ヲ創立シタモ  
 ノデツアルブルックナー氏ハ直ニ之ヲ採用シテ氏ノ地衣各論ノ卷頭ニ特筆大書シタノデアアル、而シテマッセーノ  
 引用シタル三種ノ菌ノ内第一ノモノ即チ Emericella varicolor ナルモノハバークレー(Berkley)氏之ヲ印度  
 ノセクンデラバットニ於テ發見シタモノデ初メハ其所屬ニ迷ヒマッセー氏之ヲ腹菌ナリト鑑定シタルモノデアアル  
 然シ今デハ此菌ハ麴菌科ニ屬セシメラレ正眞ノ子囊菌デ決シテ地衣デナイ、コレヨリモ更ニ興味アルモノハ第  
 二ノ Trichocoma paradoxa デアル、コレニ就キマッセー氏ノ原文ヲ簡單ニ意譯シテ見ヨウ、  
 『トリココーマ、バラドクサハ千八百二十九年ユングフーン氏之ヲ瓜哇ニ於テ發見シ、菌デアアルコトハ間違ナイ  
 ガ其形狀ノ奇怪ナルガ爲ニ其所屬ヲ決定スルニ苦ミ、終ニ之ヲ不完全菌類ノ菌絲菌類(Hyphomycetes)ニ入レタ  
 モノデアアル、次デ千八百四十一年モンターニユ(MONTAGNE)氏之ヲ腹菌ニ入レ今日ニ至ツタ、本菌ハ朽木ニ簇  
 生シ、形略ク圓筒形ニシテ長サ四分ノ三乃至一・五「インチ」巾二分「インチ」ニ至リ、基部ノ無孢子部ハ盃狀ヲ  
 ナシ、菌絲ハ厚膜性ニシテ隔膜ナク、多ク分岐シ、錯綜シテ擬柔組織ヲ形成シ、盃ノ内部ヨリ子絲(Capillitium)  
 簇生シ圓筒狀ヲナシテ盃ノ上面ニ突出シ幼時存セシ外皮(Peridium)ノ消失スルト共ニ恰モ鬚剃リ用ノ「ブラシ」

ノ如キ觀ヲ呈シ十分成長シタルモノニアリテハ子絲ノ間ニ多數ノ紫褐色ノ孢子ヲ包有スルモ幼稚ノ品ニアリテハ明ニ「バシチア」及「ステリグマタ」ヲ明視スベクリコペルドンニ近キ腹菌ナルハ疑ノ餘地ナシ、孢子ハ橢圓形ニシテ疣ヲ有シ大サ $6 \times 3 \mu$ ニ及ブ、而シテ一方ニ於テ盃狀體ノ基部ヲ檢スレバ子絲ノ根元ノ菌層中ニボトリオコックス屬ノ藻ヲ認ムベク、乾燥時ニハ此「ゴニチア」層ハ鮮黃色ヲ呈シ濕セバ直ニ綠色ヲ呈シ殊ニ稀薄アルカリ」液ニヨリテ明ニ綠色ヲ呈ス云々、而シテ私ノ實檢スル所デハ其子囊ハ托ノ基部ニ近ク存シ、又孢子ノ色ハ始メハ淡色ナレドモ後ニハ褐紫色トナリ苛性加里ヲ點ズレバ青色又ハ暗青色トナル、又第三ノ「Trichocoma laevispota」ナルモノハ下カロライナ産ノモノニシテ前種ニ比シ全體ニ小柄ニシテ孢子平滑ニシテ且小形 $4 \times 3 \mu$ ナルニヨリ之ヲ新種トナセルナリ、

以上ノ報文ハ彩色刷ノ圖版ヲ添ヘテアリ此畫ト說明トヲ見セラレタノミデハ感服セザルヲ得ナイノデアアル、然ルニ其レヨリ三年ノ後、隱花植物分類學ノ専門雜誌デアル「ヘドウキギア」Hedwigia, XXXIX (1890) Vol. VII, s. 161-171. ニ於テフキシャー(E. FISHER)氏ハトリココーマ、バラドクサノ再檢査ヲ行ヒタル結果ヲ報告シマツセー氏ノ觀察ハ全然誤謬ニシテマ氏ガ「ゴニチア」(綠類體)ノ「コロニー」ト思ヒシモノハ實ハ子囊中ニ包ムレ居ル孢子ナルコトヲ明ニシ子囊菌類ノプレクタスシネー(麴菌亞區)ニ屬スル特別ノ一科トリココーマ科ヲ構成スルモノト決定シ腹菌地衣區ナルモノハ全ク抹殺セラル、ニ至ツタ、カクノ如キ大騷ギヲ演ジタル菌「Trichocoma paradoxo」ナルモノガ吾國ニ産スルコトハ近年迄知ラレ居ラザリシモノ、如ク大正六年出版白井博士日本菌類目錄ニ之ヲ登載セズ、然ルニ大正七年八月宇井縫藏氏之ヲ紀州西牟婁郡ニ於テ採集シ又中山直記氏ハ之ヲ豊後國日隈山ニ採リ之ヲ安田篤氏ニ送り安田氏ハ之ヲ米國ロイド氏ニ送り其鑑定ニヨリテトリココーマ、バラドクサナルコト分明シ其菌ノ記載ヲ大正十二年五月發行ノ植物學雜誌第四三七號一三六一—一三七頁ニまゆはき茸ナル極メテ雅馴ナル名稱ヲ附シテ發表シタ、予ハ大正十二年四月中旬官命ヲ帶ビ歐洲ニ向テ橫濱ヲ出發シ上

蓄軒獨語(其二)



(實物ヨリ微シク廓大)



縦斷模型圖



子囊



側面ヨリ見ル



上面ヨリ見ル

孢子

大サ 6x4μ 平均

まゆはきたけ Trichocoma paradoxa JUNGH.

記ノ植物學雜誌ヲ手ニスルノ  
 機會ナク歸朝シテ神戸ニ上陸  
 シタルハ同年九月二日ニシテ  
 大震災ノ翌日デアッタ、從テ  
 安田氏ノまゆはきたけノ報文  
 フ玩味スルドコロノ餘裕ナク  
 公私ノ震災ノ跡片付ニ没頭シ  
 翌年即大正十三年四月暇ヲ得  
 テ紀州ニ採集旅行ヲ行ヒ同國  
 西牟婁郡栗栖川ノ附近ニ於テ  
 同行ノ緒方正資氏一種ノ見ナ  
 レザル菌ヲ採集シ歸宅後百方  
 書籍ヲ漁リテエングラ一植  
 物分科大全 Pflanzenfam. I  
 Theil, II Abteilung, s. 310.  
 ニアル Trichocoma paradoxa  
 JUNGH. ナルカサモナクハコ  
 レニ近キモノナラント思ヒ居  
 リ昨年(大正十四年)四月再ビ

紀州ニ至リシ際田邊町ニテ南方先生ニ御目ニカ、リシ節此菌ノ話ヲ持出シ御意見ヲ伺ヒタルニ先生ハ同席ノ宇井氏ヲ指シ「Trichooma paradoxum」ナラバ此人已ニ先鞭ヲ付ケタト言ハレ且ツマッセー氏報文ノ別冊ヲ一覽セシメラレ初メテ前記安田氏ノ記事アルコトヲ知リタル次第デアアル、其後筆者ハ相州眞鶴岬、大磯高麗山ノ二ヶ所ニ於テ此菌ヲ採集シ又大正十二年十二月小畔四郎氏薩州鹿兒島城山ニ於テ本菌ヲ得ラレ其等ノ標本ハ皆吾ガ乾園中ニ收容シアリ、故ニ此菌ハ吾國ニテハ珍品ト稱スベキモノニテハナカルベク尙詳シク搜索スレバ隨所ニ之ヲ發見スルニ至ルデアロウ、

## ○興味深キ『藻ノ海』ノ成因

理學博士 岡村金太郎

海岸ニ極メテ普通ノ海藻デイズコノ果ニ行ツテモ又イズレノ時期デモ大抵沿岸ニ打上ツテ居ル海藻ニほんだわらト云フノガアルコトハ誰デモ知ツテ居ルデアラフ此藻ハ葉間ニ普通實ト云ハレテ居ル小サナ球ガアルガ之ハ實デハナク中ニ空氣ヲ含シテ浮囊トシテ水中ニ枝ヲ擴ゲテ生活シテ居ルモノデアアル此藻ハ根ヲ以テ固ク岩石ニ附着シテ居ルノガ普通デアアルガ茲ニ太平洋ノ赤道附近ニ數千里ノ間常ニ水面ニ浮ンデ居ル一種ガアル是ハ『藻ノ海』(Sargasso-sea)トシテ世界地圖ニモ載ツテ居ル處ニアルモノデ嘗テコロンブスノ亞米利加發見ノ際水夫ノ膽ヲ冷シタノデ有名ナ所デアアル ●此『藻ノ海』ニ就テハ昔カラ種々ノ浮説臆測ヲ逞ウシタモノデ何ニシロ根ガナクテ此處ニ多年蕃茂シテ居ルト云フコトガ問題ノ根本デアアルノデ或ハ現在沈ンデ居ル陸地ガアルノダトカ又ハ地球變遷ノ前陸地ガ存シテ居タノダラフナドト各々勝手ナ熱ヲ吹キ其廣サナドモ獨逸帝國全部ヨリモ猶大クテ往々汽船ノ進行ヲ阻害スルコトガアルナド、見テ來タ様ナ嘘マデガ萬更デモナイ様ニ